

**「山岳・雪崩等遭難者電波探索システムのための
周波数有効利用技術に関する調査検討会」
開催趣旨（案）**

近年の山岳・雪崩遭難事案の増加は、国民のみならず海外からの来訪者によるマウンテンスポーツ及びレジャー人口の増加に伴ったものであります。

山岳・雪崩遭難者の救難救助に当たっては、一刻を争うものであり、警察、消防及び自治体等の公の機関を始めとした多数の捜索関係者により昼夜天候の区別なく長期間にわたって実施されている状況があります。

また、救難救助に必要な経費は、その大半が地方公共団体の負担となっており、限られた予算の中で優先的に対処しているところですが、一層の効率的かつ迅速な対応が常に求められており、国民の安心安全の確保のニーズに適切に対応する必要が求められているところです。

このような状況から、山岳高原観光資源に恵まれつつも山岳・雪崩遭難事案の対応を迫られている地域において、900MHz帯及び1800MHz帯の周波数を使用する山岳・雪崩遭難者電波探索システムの無線標定的な効果である電波の反射を利用した探索を行う技術について検討することで、山岳・雪崩遭難の発生時に、一刻を争う救難救助の円滑かつ迅速化と捜索関係者の二重遭難回避と負担軽減を図り、周波数を有効利用するための方策、技術的条件の策定に資することを目的に行うものです。